

第3回「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」について

京奈和自動車道大和北道路については、現在、都市計画および環境影響評価の手続きを進めているところです。

奈良県北部地域には、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとする極めて重要な文化財が数多く存在しており、これまでの検討では道路建設による地下水変動は季節変動に比べ小さいことが明らかにされていますが、さらに、文化財の保全等の観点より、地下水の状況を把握し、適切なモニタリング方針を定める「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」を設置し、検討を行っています。

第3回委員会では、木簡の保存メカニズムを把握することを目的に実施した平城宮跡の土質等に関する調査報告や、地下水の管理基準の考え方について、各委員のご意見を頂き、検討を行う予定です。

1. 開催日時

平成19年11月7日(水)
10:00～11:30

2. 開催場所

ニューオオサカホテル 3階「淀」
住所：大阪市淀川区西中島5-14-10
電話：06-6305-2345



3. 委員会メンバー(五十音順)

【委員長】 京都大学大学院工学研究科教授
京都大学大学院文学研究科教授
奈良文化財研究所長
総合地球環境学研究所准教授
岡山大学大学院環境学研究科教授
三木地盤環境工学研究所長
立命館大学文学部教授

おおにし	ゆうぞう
大西	有三
うえはら	まひと
上原	真人
たなべ	いくお
田辺	征夫
たにくち	まこと
谷口	真人
にしがき	まこと
西垣	誠
みき	ひろし
三木	博史
わだ	せいご
和田	晴吾

4. その他

委員会の頭取り可(冒頭委員長挨拶まで)、委員会終了後、会場での結果について報告予定(11:45頃 3階「葛城」)

一般国道24号京奈和自動車道大和北道路について

大和北道路は、近畿圏の外郭環状道路である京奈和自動車道の一部を形成し、京都市、奈良市、和歌山市の拠点都市間の地域連携を強化するとともに、慢性的な交通渋滞が発生している一般国道24号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保を目的とした道路として計画しています。

これまで、大和北道路の計画にあたり、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとする極めて重要な文化財が多く存在するため、大学教授等の学識経験者で構成する3つの委員会で、文化財保護、古都の景観への影響についてルート・構造を検討してきました。

地下水検討委員会では、地下水の現状分析、道路建設に伴う地下水への影響を予測・評価してきました。

文化財検討委員会では、文化財への配慮事項について検討してきました。

大和北道路有識者委員会では、地下水検討委員会、文化財検討委員会の検討結果を踏まえ、地域住民等のアンケート調査等を実施し、文化財保護、景観への配慮から2ルートに絞り込みました。

これらの委員会結果を踏まえ、関係行政機関で、「西九条佐保線ルート」にルートを絞り込み、都市計画及び環境影響評価の手続きを進めているところです。

大和北道路 位置図



大和北道路地下水モニタリング検討委員会について

1 目的

- ・ 当委員会は、文化財の保全等の観点より、地下水の状況を把握し、適切な地下水のモニタリング方針を定めるものである。

2 メンバー

	氏名	所属・役職等
委員長	大西 有三	京都大学 大学院 工学研究科 教授
委員	上原 真人	京都大学 大学院 文学研究科 教授
〃	田辺 征夫	奈良文化財研究所長
〃	谷口 真人	総合地球環境学研究所 准教授
〃	西垣 誠	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授
〃	三木 博史	三木地盤環境工学研究所長 [前 土木研究所 技術推進本部長]
〃	和田 晴吾	立命館大学 文学部 教授

(五十音順・所属役職は現在)

3 検討項目

(1) モニタリング内容

- ・ モニタリング項目と、各項目についての観測範囲、位置、手法、期間

(2) 管理基準の考え方

- ・ 道路建設による地下水の異常と判断する基準の考え方

(3) 異常時の地下水保全の考え方

- ・ 文化財の保全等の観点から、地下水の保全に万全を期すため、施工中に地下水の異常が生じた時に行う対策の考え方

4 今後の進め方

